

第3回さぬき市男女共同参画推進協議会 意見交換について

以下の2つのテーマについて意見交換の時間を設けたいと思います。

テーマ1 男女共同参画の視点からの地方創生について

- ・どうして女性はまちを出て行き帰らないのか？
- ・女性が住みやすいまちとは？
- ・寛容な社会とは？その社会を作るためにどんな取組が必要？ など

■日本は現在、人口急減・超高齢化という大きな課題に直面しています。人口急減について語られる際、地方からの若年女性の流出(都市部への集中)の問題がニュース等でも大きく取り上げられました。

(参考)※インターネット上で記事を読むことができます

- ・国土交通省 地方における女性活躍
- ・NHK クローズアップ現代 女性たちが去っていく 地方創生 10 年・政策と現実のギャップ

■これらの課題に政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することをめざして、内閣府では「まち・ひと・しごと創生『長期ビジョン』『総合戦略』『基本方針』」が定められています。

人口減少を克服し、将来にわたって成長力を確保し、「活力ある日本社会」を維持するため、
「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」
「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」
「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」
「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」

という4つの基本目標と

「多様な人材の活躍を推進する」

「新しい時代の流れを力にする」

という2つの横断的な目標に向けた政策を進めています。

(内閣府・内閣官房総合サイトより抜粋)

■さぬき市においても、まち・ひと・しごと創生総合戦略を定めています。以下第3期さぬき市 まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)からの一部抜粋です。

- ・人口の将来展望
- ・ビジョンと基本目標
- ・具体的取組(人権推進課関係部分)

(第3期さぬき市 まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)より一部抜粋)

■人口の将来展望

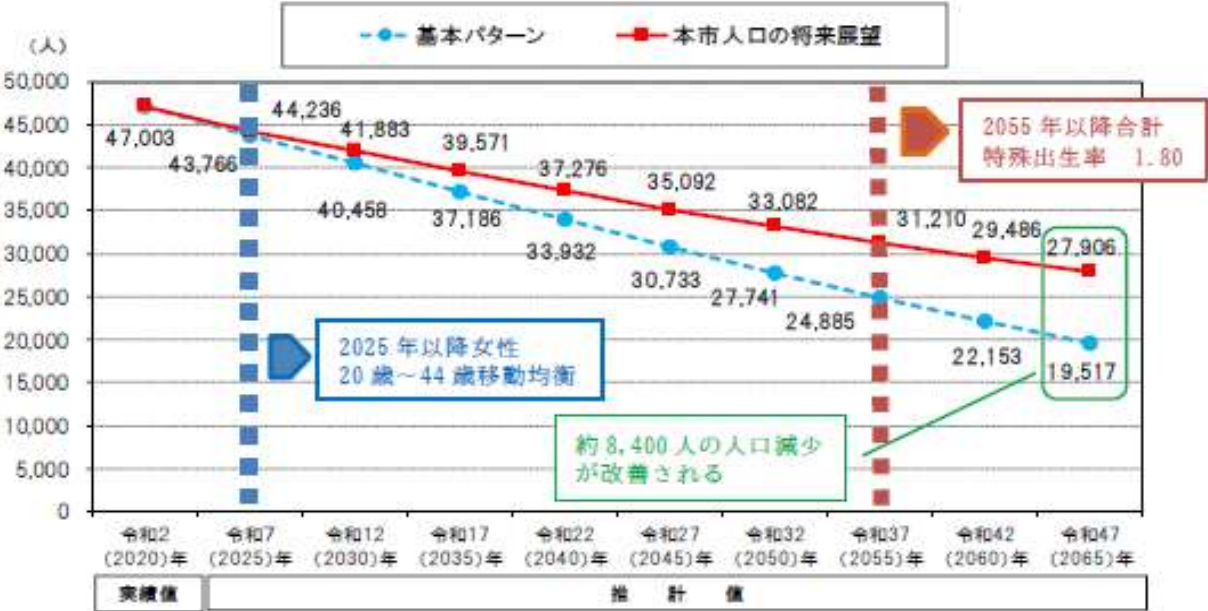
人口ビジョン(令和7年3月改訂)において、令和47(2065)年の本市の総人口は、図表2のとおり、国が示す「基本パターン」では、19,517人になると想定されます。本市では、この想定人口を改善するための前提条件として、

①人口減少の改善の要となる女性20歳～44歳層の転入・転出がプラス・マイナス「0」となることを維持する

②これらの年齢層に関わる合計特殊出生率が改善に向かう
と仮定した場合、令和47(2065)年の本市の総人口は27,906人となり、「基本パターン」に比べて約8,400人の人口減少が改善されることが分かりました。

したがって、本市ではこの約28,000人の人口の維持を目指して、施策を展開していくこととします。

■図表2 総人口の将来展望■



基本パターンと人口の将来展望・総人口(指数) ※2020年を100とする。	実績値	推 計 値								
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
基本パターン	100.0	93.1	86.1	79.1	72.2	65.4	59.0	52.9	47.1	41.5
本市人口の将来展望	100.0	94.1	89.1	84.2	79.3	74.7	70.4	66.4	62.7	59.4

出典：内閣府「将来人口推計のためのワークシート」(令和6年6月版)

■ビジョンと基本目標

◆地域ビジョン（本市が目指す理想像）◆

守る つなぐ 進化する

～ひとつ上の質の良さを求めて～

基本目標 1

さぬき市に仕事をつくる

基本目標 2

さぬき市への人の流れをつくる

基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標 4

安全・安心な魅力あふれる地域をつくる

■具体的取組（人権推進課関係部分）

2 女性活躍推進の支援

女性が活躍できる職場環境の整備が事業所等にもたらす効果を理解し、実践していただけるよう、関係機関と連携した啓発活動やキャリア教育支援に取り組めます。

テーマ2 この1年を振り返って

- ・男女共同参画推進協議会委員になって思うこと、感じること
- ・人権・男女共同参画に関し気になるニュース、トピック など